

①— 1 基本理念 新旧比較

旧	新
(1) 「ここに来れば堺が分かる」という知の集積の場であること。	(1)「ここに来れば堺が分かる」知の集積の場であること。 世界遺産「百舌鳥古墳群」や海外との貿易により繁栄した中世都市堺等、日本史上に存在感を示した堺が誇る文化遺産や歴史資料に関する調査、研究、展示の核となる。
(2) 資料を最適な環境で永続的に保管、継承し、市民のために継続的な利活用ができる場であること。災害等の際には、地域の被害状況に応じた文化財レスキューが可能となる設備を備えること。	(2)モノにもヒトにも安全安心な場であること。 先人たちから受け継いできた資料を永続的に保管し、未来へ継承していく文化遺産の庫となる。全ての人に対して安全でやさしい空間を提供する。
(3) 市民の意識醸成・向上の場及び観光客にとって来訪のきっかけとなり、堺の認知度向上に寄与する施設であること。本市の歴史文化資源をつなぎ市内各エリアの周遊を促進する施設であること。	(4)堺の歴史文化資源のブランド力を発信する場であること。 堺の歴史・美術資料がもつ魅力の相乗効果により生み出される新たな価値を国内外に発信する。幅広い層の興味、関心を惹きつけることで堺来訪の主目的たる施設となる。
(4) 実物資料を用いた社会教育・学校教育の新たな拠点として様々な世代が交流・対話の主役となることができる施設であること。住民と連携・協働し地域コミュニティの核としての役割を担うこと。	(3)歴史・文化を介してヒトをつなぐ場であること。 市民と連携・協働する地域コミュニティのハブとしての役割を担い、地域課題の解決にむけて取り組む。社会教育・学校教育の拠点として、誰もが学び、交流・対話の主役となる文化の広場をめざす。
(5) グローバル化、多様化する現代社会において、全ての人々が平等に情報を収集、活用できるデジタル技術を駆使した「ミュージアム」であること。	(5)社会課題と向き合う場であること。 グローバル化、多様化する現代社会において、すべての人々に開かれ、平等に様々な経験を提供する。持続可能な博物館運営をおこなう。
(6) SDGs に配慮したソフト・ハードを兼ね備えた施設であること。	